

■高密着 水系下塗り材

- ・強化コンクリート面 OK !
- ・厚生労働省指針13物質 非配合 !

水系 **ボウジン** テックス

プロエポプライマー

プロエポプライマー

特長・用途

1 難付着性の床基材にも高い付着性

- 一般的なモルタル・コンクリート
- 強化コンクリート、カラコン、フェロコン面
- 機械ゴテ押さえ等の緻密で硬質なモルタル・コンクリート面
- 磁器タイル面

磁器タイルの種類によっては付着しない場合があります。
必ず事前にテスト施工して付着性を確認してください。

**ガッチリ
密着！**

2 各種旧塗膜に幅広く密着

3 各種上塗り製品が幅広く適合

**幅広い
製品適合！**

各種旧塗膜							
水系アルファ フロアピアニ 水系#300 水系サーモ	水系 E	#1000 ※1	#2000 #5000U	#5400 #5500N	エポワイド	Uワイド ※1	#8000 タフタイトU

水系 **ボウジンテックス** プロエポプライマー

上塗り製品	水系アルファ	○	○	○	○	○	○	○
	水系 E	○	○	○	○	○	○	○
	フロアピアニ	○	○	○	○	○	○	○
	水系#300	○	○	○	○	○	○	○
	水系サーモ	○	○	○	○	○	○	○
	#1000	△ ※3	△ ※3	○	○	△ ※3	○	○
	#2000	△ ※3	△ ※3	△ ※3	○	△ ※3	○	○
	#5000U	△ ※3	△ ※3	△ ※3	○	△ ※3	○	○
	#5400 ※2	△ ※3	△ ※3	△ ※3	○	○	○	○
	#5500N ※2	△ ※3	△ ※3	△ ※3	○	○	○	○
	エポワイド	○	○	○	○	○	○	○
	Uワイド	○	○	○	○	○	○	○
	#8000	×	△ ※3	×	○	×	○	○
	タフタイトU	×	△ ※3	×	○	×	○	○

※1 目粗しが必要です。

※2 ボウジンテックス#5400、#5500Nはアスファルト下地用の塗料です。下地がコンクリート面の場合は塗装を避けてください。

※3 旧塗膜の状況によってはリフティングが生じる場合がありますのでご注意ください。

※ プロエポプライマーの塗付量が下限値を下回った場合、剥離につながる可能性がありますので塗付量は必ず守って塗装してください。

※ 下地の耐溶剤性が悪い場合、上塗りに溶剤系塗料を塗装するとリフティングを生じる可能性がありますので塗装を避けてください。

※ 旧塗膜と上塗りの組み合わせによっては、プロエポプライマーを省ける可能性がありますので、別途「ボウジンテックス施工マニュアル T-2. 既存塗膜と各種上塗材の適合性」をご参照ください。

※ 旧塗膜の状況によってはリフティングが生じる場合がありますのでご注意ください。

※ 通常のモルタル、コンクリートには各製品毎の専用の下塗りがあります。詳細につきましては弊社営業担当者までお問合せください。

扱いやすい！

4 安全・環境配慮

- 厚生労働省指針13物質非配合
- 国土交通省に関わる6物質非配合
- 文部科学省基準6物質非配合
- 鉛・クロムフリー
- F☆☆☆☆
- 水系塗料で安心・低臭気

5 優れた乾燥性で工期短縮

1日目	水系ボウジンテックス プロエポプライマー 4h～ 水系ボウジンテックス E 10h～
2日目	水系ボウジンテックス E

6 無希釈

無希釈で粘度調整が不要です。

塗装仕様

●強化コンクリート面の場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	強化コンクリート表面にエフロやレイトランス等の強度の弱い脆弱層やワックス・油分・タイヤ跡・泥等の汚れがある場合、サンドペーパーポリッシャーやライナックスを用いて除去する。次いでゴミ、ほこりを丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	水系ボウジンテックス プロエポプライマー 主剤 4kg 硬化剤 8kg	——	ハケ ローラー	1	※1※2 0.1～0.14	86～120	60分以内	——	※3 3h以上 48h以内	——
上塗り	水系ボウジンテックス E 主剤 10kg 硬化剤 4kg	5～15% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.13～0.17	41～54	90分以内	10h以上 48h以内	——	14h以上 完全硬化2日以上

- ※1 標準のモルタル・コンクリートの場合の塗付量は0.12～0.16kg/m²となります。
 ※2 標準塗付量より少ない塗付量で塗り延ばすと付着性が著しく低下するので、塗付量は必ず守って塗装してください。
 ※3 フロアビアニを塗装する場合の塗装間隔は23℃で4h以上48h以内です。
 低温時にウレタン系を上塗りにする場合、プロエポプライマー塗装の翌日上塗りを施工するようにしてください。

●各種旧塗膜面の場合(海島状態を含む)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	下地の汚れ・ゴミ・油分を除去し、必要に応じてサンダーにて目粗しを行う。旧塗膜の死膜(膨れ、浮き、はがれ部)をケレンし、活膜だけを残す。(※1)									
下塗り	水系ボウジンテックス プロエポプライマー 主剤 4kg 硬化剤 8kg	——	ハケ ローラー	1	※2 0.1～0.14	86～120	60分以内	——	※3 3h以上 48h以内	——
※4 上塗り	水系ボウジンテックス E 主剤 10kg 硬化剤 4kg	5～15% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.13～0.17	41～54	90分以内	10h以上 48h以内	——	14h以上 完全硬化2日以上

- ※1 海島状態の場合、露出しているコンクリート面の増加に伴い下塗りの必要量が増加します。
 ※2 標準塗付量より少ない塗付量で塗り延ばすと付着性が著しく低下するので、塗付量は必ず守って塗装してください。
 ※3 フロアビアニを塗装する場合の塗装間隔は23℃で4h以上48h以内です。
 低温時にウレタン系を上塗りにする場合、プロエポプライマー塗装の翌日上塗りを施工するようにしてください。
 ※4 旧塗膜の耐溶剤性が悪い場合、上塗りに溶剤系塗料は使用しないでください。

水系ボウジンテックス プロエポプライマー…………… 12kgセット(主剤 4kg 硬化剤 8kg)
3kgセット(主剤 1kg 硬化剤 2kg)

注 意 事 項

※各種上塗材の注意事項も別途参照願います。

1. 製品に柔らかい沈殿が発生する場合がありますが、その際は攪拌して均一な状態にしてからご使用ください。
2. 可使時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使時間内に手際よく塗装してください。
3. 気温10℃未満、相対湿度80%以上、降雨・降雪・結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
4. 気温が高い場合は、極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 2液型塗料なので、ハンドミキサーなどで充分攪拌してください。
6. 小分けして使用する場合は、主剤を充分攪拌した後に混合比率を守り、量りで正確に計量してください。
7. 換気が不充分である場合、乾燥が遅れたり、硬化不良を起こす場合があります。
8. 材料の保管・取り扱いは消防法、労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
9. 排水溝には捨てないでください。
10. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
11. 凍結させないように3℃以上の室内に保管してください。
12. 静電気をきらう床には施工しないでください。
13. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
14. 塗装による臭気で近隣に迷惑をかけることがありますので、充分に配慮をお願いします。
15. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



LINE公式
アカウント開設！
ID：@521kgmun

水谷HPは
こちら↓



本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	